



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月30日

上場会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
コード番号 4765 URL <http://www.sbiglobalam.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小笠原 靖行

TEL 03-6229-0812

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無

: 無

決算説明会開催の有無

: 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,652	14.2	1,808	8.3	2,064	2.8	1,300	3.3
2024年3月期第3四半期	7,576	16.1	1,670	10.1	2,007	11.5	1,258	15.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 778百万円 ( 31.1%) 2024年3月期第3四半期 1,129百万円 ( 14.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	14.50	
2024年3月期第3四半期	14.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	17,479	14,938	84.5	164.76
2024年3月期	18,625	16,110	85.7	178.03

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 14,774百万円 2024年3月期 15,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		8.50		13.00	21.50
2025年3月期(予想)		8.75			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の配当予想額は、現時点で未定であります。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

業績予想につきましては、未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	89,673,600 株	2024年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	125 株	2024年3月期	120 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	89,673,477 株	2024年3月期3Q	89,673,480 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2025年3月期の配当予想)

2025年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年1月30日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況 .....	2
(2) 当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)は、我が国において新首相の就任とその直後の総選挙、世界においては米大統領選等の大きなイベントが続く中、世界経済は比較的好調な米国を除き、混乱の中にある欧州、不透明な中国等、総じて厳しい状況にありました。この複雑な市場環境の中、当社の連結業績は増収増益、そして売上および全ての利益項目で過去最高を更新することができました。

アセットマネジメント事業においては、中核であるSBIアセットマネジメント株式会社における運用資産残高が前年同期末比で36.5%増加し、2024年12月末の合計運用残高は6.9兆円となりました。この拡大に伴い運用報酬(信託報酬)も増加し、当第3四半期連結累計期間でのセグメント売上高は、前年同期の6,043百万円から1,168百万円(19.3%)の増収となる7,212百万円となりました。SBIアセットマネジメント株式会社では当第3四半期でも引き続き魅力ある商品の設定を行っており、特に10月31日に東京証券取引所に上場したETF(上場投資信託)である「SBIサウジアラビア株式上場投信」や、12月20日に運用を開始した「SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)」については投資家の皆様から高い支持をいただく結果となりました。

ファイナンシャル・サービス事業においては、当第3四半期はNISA関連におけるセミナー・資産運用フェア等の開催が大きく増えたことで、スポンサー関連の売上は伸び、また投資信託関連ツールも引き続き伸長しました。一方、資産運用関連ツールの受託開発の売上が減少したことで、セグメント売上高は、前年同期比6.0%の減収となる1,439百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の7,576百万円から1,076百万円(14.2%)の増収となる8,652百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の3,642百万円から638百万円(17.5%)増加し4,280百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の2,263百万円から299百万円(13.2%)増加し2,562百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の1,670百万円から138百万円(8.3%)の増益となる1,808百万円となりました。

営業外損益は、前年同期と比べ純額で81百万円減少しましたが、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の2,007百万円から57百万円(2.8%)の増益となる2,064百万円となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の1,258百万円から41百万円(3.3%)の増益となる1,300百万円となり、第3四半期としての連結売上高および全ての利益項目において、過去最高の数値を達成いたしました。

## [連結業績の概要]

	2024年3月期第3四半期 連結累計期間		2025年3月期第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	比率(%)
売上高	7,576,008		8,652,253		1,076,245	14.2
営業利益	1,670,503	22.0	1,808,944	20.9	138,440	8.3
経常利益	2,007,315	26.4	2,064,477	23.9	57,162	2.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,258,394	16.6	1,300,249	15.0	41,855	3.3

連結売上高は第3四半期として、13期連続の増収、8期連続で過去最高売上を更新しました。

営業利益は第3四半期として、5期連続の増益、4期連続の過去最高益を記録しました。

経常利益は第3四半期として、16期連続の増益、13期連続の過去最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期として、5期連続の増益及び過去最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第3四半期連結累計期間 2023年4月1日から 2023年12月31日まで		当第3四半期連結累計期間 2024年4月1日から 2024年12月31日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
アセットマネジメント事業	6,043,868	79.8	7,212,484	83.4	19.3
ファイナンシャル・サービス事業	1,532,140	20.2	1,439,769	16.6	△6.0
連結売上高	7,576,008	100.0	8,652,253	100.0	14.2

#### 1) アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業においては、中核であるSBIアセットマネジメント株式会社において魅力ある新商品の設定が奏功し、運用資産残高は前年同期末比で36.5%増加し、2024年12月末の合計運用残高は6.9兆円となりました。当期間中に新たに設定した投資信託には様々なタイプがありますが、なかでも、10月31日に東京証券取引所に上場したETF(上場投資信託)である「SBI サウジアラビア株式上場投信」は、SBIグループが積極的に推進しているサウジアラビア王国との事業連携を象徴するもので、日本初のサウジアラビア株価指数連動型ETFということもあり、市場でも大きな注目を集め、上場時の時価総額は、21億円と過去10年間に東京証券取引所に上場された新興国株式ETFの中でも最大規模となりました。また、12月20日に運用を開始した「SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)」は、当社でも根強い人気のある米国の高配当株式に投資するETFを投資対象とするもので、10日間の当初募集期間で596億円と、ネット販売専用ファンドとしては過去最大、2024年に新規設定された全ての国内追加型公募株式投資信託の中においても第二位となる規模での設定額となり、投資家の皆さまから大きな支持をいただく結果となりました。また、既存の投資信託についてもNISAの順調な進展などもあり総じて順調に拡大したことで、運用報酬(信託報酬)についても増加し、当第3四半期連結累計期間でのセグメント売上高は、前年同期の6,043百万円から1,168百万円(19.3%)の増収となる7,212百万円となりました。また、セグメント利益は、前年同期の1,285百万円から22.4%の増益となる1,573百万円となりました。

#### 2) ファイナンシャル・サービス事業

ファイナンシャル・サービス事業においては、当第3四半期はNISA関連の定着、進展等を背景とした資産運用ニーズの高まりを受け、ウェルスアドバイザー株式会社が大手金融機関や地域金融機関と共同で開催するセミナーや資産運用フェア等の件数が増加したことで、スポンサー関連の売上は拡大いたしました。また投資信託関連ツールも引き続き伸ばしたものの受託開発の売上が減少し、セグメント売上高は、前年同期比6.0%の減収の1,439百万円となり、セグメント利益は前年同期の38.8%の減益となる235百万円となりました。

#### (2) 当四半期連結会計期間の財政状態に関する概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比較して1,145百万円減少し、17,479百万円となりました。これは、流動資産が2百万円減少し、固定資産が1,142百万円減少したことによるものであります。

流動資産の減少は、主として、現金及び預金の純減270百万円、売上債権の増加450百万円、投資有価証券償還の未決済代金の入金に係る未収入金の減少146百万円によるものです。現金及び預金の純減は、主として、税金等調整前四半期純利益2,063百万円の計上に係る増加に、配当金の期中支払合計1,950百万円と納税に伴う減少等が生じたことによるものです。

固定資産の減少は、主として投資有価証券が1,090百万円減少したことによるものであります。これは、主として、投資有価証券(投資信託等)の取得507百万円及び売却等947百万円と、運用分配金に伴う増加及び基準価額の変動に係る減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、2,540百万円となりました。これは主として、未払消費税等が24百万円増加したほか、未払金の増加124百万円、リース債務の減少42百万円、預り金等のその他流動負債が72百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,171百万円減少し、14,938百万円となりました。これは主として、当第3四半期連結累計期間に1,300百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、1,950百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が純額で650百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が、投資有価証券の基準価額の変動等により、551百万円減少したことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場の動向について当期を通じて想定するのは難しく、故に当社グループの業績を合理的な算定で行うことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,637,848	3,367,028
売掛金	2,273,701	2,723,781
棚卸資産	3,698	2,872
未収入金	146,925	-
その他	485,296	451,393
流動資産合計	6,547,470	6,545,075
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	120,696	120,696
減価償却累計額	△46,776	△54,256
建物附属設備（純額）	73,919	66,439
工具、器具及び備品	185,458	187,966
減価償却累計額	△161,900	△167,909
工具、器具及び備品（純額）	23,557	20,057
使用権資産（純額）	216,568	174,162
有形固定資産合計	314,046	260,659
無形固定資産		
のれん	1,633,229	1,559,685
ソフトウェア	986,883	858,962
その他	9,124	8,940
無形固定資産合計	2,629,237	2,427,588
投資その他の資産		
投資有価証券	8,712,813	7,621,922
繰延税金資産	294,214	503,190
その他	126,228	121,056
投資その他の資産合計	9,133,256	8,246,169
固定資産合計	12,076,540	10,934,417
繰延資産		
株式交付費	1,632	309
繰延資産合計	1,632	309
資産合計	18,625,643	17,479,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,765	23,128
未払金	1,162,069	1,286,353
リース債務	58,881	63,098
未払法人税等	430,601	418,367
未払消費税等	108,637	132,638
その他	578,594	506,162
流動負債合計	2,357,550	2,429,748
固定負債		
リース債務	157,686	111,064
固定負債合計	157,686	111,064
負債合計	2,515,237	2,540,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,528,571	4,528,571
利益剰余金	8,019,263	7,369,115
自己株式	△20	△23
株主資本合計	15,911,449	15,261,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△330,513	△882,212
為替換算調整勘定	383,462	395,624
その他の包括利益累計額合計	52,948	△486,588
非支配株主持分	146,008	164,279
純資産合計	16,110,406	14,938,989
負債純資産合計	18,625,643	17,479,802

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,576,008	8,652,253
売上原価	3,642,075	4,280,455
売上総利益	3,933,933	4,371,797
販売費及び一般管理費	2,263,429	2,562,853
営業利益	1,670,503	1,808,944
営業外収益		
受取利息	60,547	98,002
受取配当金	150,248	108,188
投資有価証券売却益	131,942	49,100
その他	2,151	3,176
営業外収益合計	344,889	258,467
営業外費用		
為替差損	150	1,327
株式交付費償却	7,256	1,323
その他	671	283
営業外費用合計	8,077	2,934
経常利益	2,007,315	2,064,477
特別損失		
投資有価証券評価損	-	522
特別損失合計	-	522
税金等調整前四半期純利益	2,007,315	2,063,955
法人税、住民税及び事業税	456,153	708,339
法人税等調整額	263,261	35,618
法人税等合計	719,415	743,958
四半期純利益	1,287,900	1,319,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,505	19,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258,394	1,300,249

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,287,900	1,319,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379,301	△553,175
為替換算調整勘定	221,218	12,162
その他の包括利益合計	△158,083	△541,013
四半期包括利益	1,129,816	778,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,102,025	760,712
非支配株主に係る四半期包括利益	27,790	18,271

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	四半期連結損益計算書計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,043,868	1,532,140	7,576,008	-	7,576,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	528	3,447	3,975	△3,975	-
計	6,044,396	1,535,587	7,579,983	△3,975	7,576,008
セグメント利益	1,285,379	385,123	1,670,503	-	1,670,503

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	四半期連結損益計算書計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,212,484	1,439,769	8,652,253	-	8,652,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	540	3,447	3,987	△3,987	-
計	7,213,025	1,443,216	8,656,241	△3,987	8,652,253
セグメント利益	1,573,152	235,791	1,808,944	-	1,808,944

## 2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	7,579,983	8,656,241
セグメント間取引消去	△3,975	△3,987
四半期連結損益計算書の売上高	7,576,008	8,652,253

(単位:千円)

セグメント利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,670,503	1,808,944
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	1,670,503	1,808,944

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	287,055千円	320,724千円
のれんの償却額	78,521千円	82,804千円